



Marine Polis



第20期事業報告書

平成16年11月1日から平成17年10月31日まで

株式会社 マリンポリス

Marin Polis

マリンポリスは回転寿司の全国チェーン化を通じて 「5つの約束」（おいしい、新鮮、安い、安心、楽しい）を実践し、 発展を目指します。

伝統的な日本の食である“お寿司”。概算1兆3千億円と言われるわが国の寿司業界において、昭和40年代に誕生した回転寿司は、低価格、価格の明瞭化、入店しやすい店舗づくりなどが幅広い消費者に支持されて、現在4,500店舗、売上高5千億円と寿司マーケット全体の3分の1を占めるに至っております。

規模の拡大を進める大手回転寿司チェーンの多くは、「安さを追求するための仕組み」を追求していますが、当社では昔ながらの“お寿司屋さん”が持つ良さを極力残していくことを目指しております。“活き”を重んじた市場からの鮮魚の直接仕入れ、加工センターに頼らない店内調理の徹底、O型ベルトの採用による寿司屋独特の“活気”と“対話”を重視した店内レイアウトなど、独自の経営哲学で運営しております。これは、回転寿司を単に食材が寿司である外食チェーンとしてではなく、本格寿司をチェーン化したビジネスモデルと捉えた結果です。

前社長より受け継いだこれらの経営資源は、国内外合わせて140店超の店舗網として結実しております。社長として経営の舵取りを任されました私の使命は、受け継いだ資産を生かし育て、そこから時代の変化にマッチした新しい価値を創造していくこ

とであると考えております。

そのために、まずは足場固め。コアとなる回転寿司チェーン事業の安定的拡大を図ってまいります。社内改革の一環として進めております「直営店政策とFC店政策の一体化」や「エリア・マネージャー制の導入」などは、FC加盟店の皆様からの一層のご協力をいただきながら、一体となって発展していくことを目指したものです。

加えて、自ら考え行動することのできる社員を育てる教育を重視し、お客様により一層ご満足いただける商品・サービスの提供を目指してまいります。株主の皆様には、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 山野井 孝允



代表取締役社長 山野井 啓雄



当連結会計年度におけるわが国の経済は、設備投資、企業収益の回復、失業率・有効求人倍率など、雇用指標の改善などに加え、個人消費も回復の兆しが窺われていることから、緩やかな景気回復が見られました。

しかしながら外食産業は市場規模が引き続き縮小傾向にあり、また、既存店売上は前年割れが続く厳しい状況となりました。

このような状況の中で、当社グループは、店舗および商品・サービスなど独自性の創造を行い、競合他社との差別化を図るべく、マネージャー制度を導入し、マネージャーを牽引力としたプロ集団づくりに取り組んでまいりました。

当連結会計年度の新規出店につきましては、国内で15店舗（直営8、FC7）の出店を行いました。一方店舗の閉店は国内で16店舗（直営9、FC7）を行ったことにより、当連結会計年度末における店

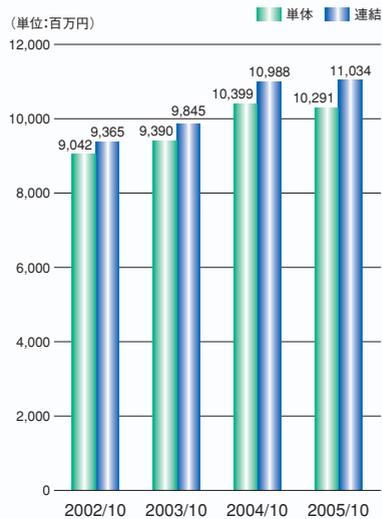
舗数は、マリンポリス28店舗（直営19、FC9）、シージャック117店舗（直営81、FC36）、シージャック1店舗（直営1）、まぐろ三昧1店舗（直営1）の合計147店舗（直営102、FC45）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高11,034百万円（前連結会計年度比0.4%増）、経常利益356百万円（同26.8%減）、当期純利益124百万円（同50.3%減）となりました。

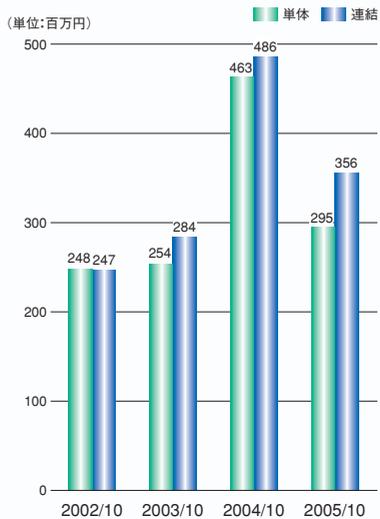


財務ハイライト

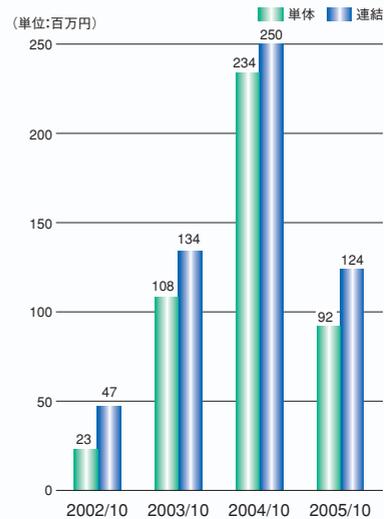
売上高



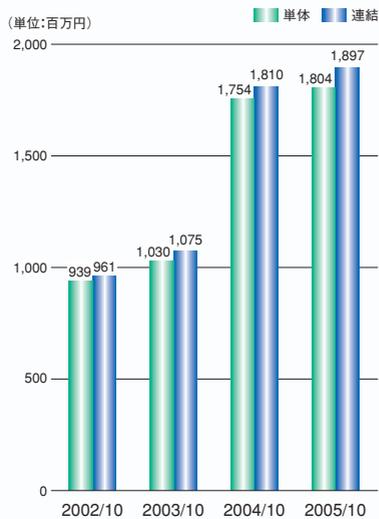
経常利益



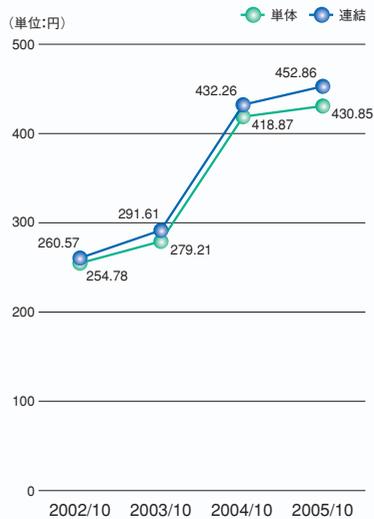
当期純利益



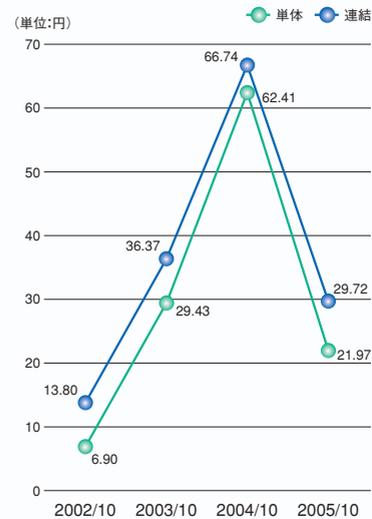
純資産



1株当たり純資産



1株当たり当期純利益



家族で楽しいスーパー洗車場

「JAVA-ジャバー」1号店が豊成にOPEN

この度当社は、株式会社JAVA DD&Aが運営する、対人サービスを行う洗車場「家族で楽しいスーパー洗車場 ジャバ」チェーンにフランチャイズ加盟し、1号店を2005年12月17日、岡山市豊成にて出店いたしました。有人洗車場とし、車にキズのつかないノーブラシ洗車機を採用したジャバは、お客さまのニーズにきめ細かく対応した、ハイクオリティな洗車サービスを提供する洗車場です。当社は創業以来、飲食(回転寿司)の取り組みに特化し、独自のノウハウやシステムを作り上げてまいりましたが、新規事業への進出にあたり、事業構造がシンプルかつマネジメントしやすい業態の洗車場事業を展開することにより、当社の今後における新規事業の確立に役立てていけるものと考えております。



北海道スープカレー専門店

「レッドスパイス」表町商店街にOPEN!

当社は新規事業としてスープカレーレストランの店舗展開を検討しておりましたが、札幌で人気のスープカレー店を経営する、有限会社きたぐにコーポレーションとの業務提携が成立し、当社のオリジナルブランド「レッドスパイス」として店舗展開を図ることとなりました。その第1号店が、2005年12月22日、岡山市表町商店街にオープンしました。「若い女性、カップル、ビジネスマンの方々がおしゃれな雰囲気の中で楽しく食事をしていただけるスープカレー専門店」をコンセプトに、スープカレーメニュー9種類およびラッシー、チャイ等のドリンクを提供。100段階までの辛さを選択できるというユニークなメニュー設定と、スパイスによる健康促進効果を特徴とすることで、リピート率の高い事業を展開していきます。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当 期	前 期		当 期	前 期
	2005年10月31日現在	2004年10月31日現在		2005年10月31日現在	2004年10月31日現在
（資産の部）			（負債の部）		
流動資産	1,133	1,600	流動負債	1,904	2,389
現金及び預金	812	1,236	支払手形及び買掛金	466	798
受取手形及び売掛金	52	87	短期借入金	110	20
たな卸資産	77	69	一年以内返済予定長期借入金	710	734
繰延税金資産	49	63	未払金	368	390
その他	142	144	未払法人税等	45	201
貸倒引当金	△ 0	△ 0	賞与引当金	76	76
固定資産	3,897	3,903	その他	127	168
有形固定資産	2,731	2,699	固定負債	1,229	1,304
建物及び構築物	1,763	1,730	長期借入金	967	1,105
機械装置及び運搬具	367	378	繰延税金負債	35	10
土地	374	374	役員退職慰労引当金	101	91
建設仮勘定	18	32	その他	126	96
その他	207	184	負債合計	3,133	3,693
無形固定資産	50	69	（資本の部）		
投資その他の資産	1,115	1,134	資本金	572	572
長期貸付金	148	142	資本剰余金	600	600
繰延税金資産	157	115	利益剰余金	736	654
差入保証金	779	843	為替換算調整勘定	△ 12	△ 16
その他	44	34			
貸倒引当金	△ 13	△ 2	資本合計	1,897	1,810
資産合計	5,030	5,504	負債・資本合計	5,030	5,504

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当 期 2004年11月1日から 2005年10月31日まで	前 期 2003年11月1日から 2004年10月31日まで
（経常損益の部）		
売上高	11,034	10,988
売上原価	4,700	4,739
売上総利益	6,334	6,249
販売費及び一般管理費	5,994	5,757
営業利益	339	491
営業外収益	88	70
受取利息及び配当金	4	4
持分法による投資利益	—	3
賃貸料収入	27	22
自動販売機収入	21	21
その他	33	19
営業外費用	71	74
支払利息	31	37
貸倒引当金繰入額	10	—
賃貸原価	30	16
新株発行費	—	16
その他	0	4
経常利益	356	486
（特別損益の部）		
特別利益	—	45
貸倒引当金戻入益	—	13
関係会社清算益	—	20
その他	—	11
特別損失	71	22
固定資産除売却損	45	16
賃借店舗解約損	26	6
税金等調整前当期純利益	284	509
法人税、住民税及び事業税	164	276
法人税等調整額	△ 4	△ 17
当期純利益	124	250

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書

（単位：百万円）

	当 期 2004年11月1日から 2005年10月31日まで	前 期 2003年11月1日から 2004年10月31日まで
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	600	283
資本剰余金増加高	—	317
増資による新株の発行	—	317
資本剰余金期末残高	600	600
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	654	422
利益剰余金増加高	124	250
当期純利益	124	250
利益剰余金減少高	41	18
配当金	41	18
利益剰余金期末残高	736	654

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当 期 2004年11月1日から 2005年10月31日まで	前 期 2003年11月1日から 2004年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	232	1,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 545	△ 758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 115	203
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△ 4
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△ 424	671
現金及び現金同等物の期首残高	1,236	564
現金及び現金同等物の期末残高	812	1,236

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

単体貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期	前 期		当 期	前 期
	2005年10月31日現在	2004年10月31日現在		2005年10月31日現在	2004年10月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	997	1,550	流動負債	1,845	2,342
現金及び預金	661	1,162	支払手形	—	21
受取手形	4	6	買掛金	439	753
売掛金	49	81	短期借入金	110	20
食材	42	39	一年以内返済予定長期借入金	710	734
貯蔵品	31	28	未払金	344	375
前払費用	87	68	未払消費税等	27	65
繰延税金資産	49	63	未払費用	30	30
未収入金	20	40	未払法人税等	45	201
その他	51	61	賞与引当金	74	75
貸倒引当金	△ 0	△ 0	その他	63	65
固定資産	3,848	3,840	固定負債	1,194	1,294
有形固定資産	2,547	2,488	長期借入金	967	1,105
建物	1,446	1,395	役員退職慰労引当金	101	91
構築物	166	169	長期預り金	126	96
機械装置	331	329			
車両運搬具	4	4			
器具備品	205	182			
土地	374	374			
建設仮勘定	18	32			
無形固定資産	50	69	負債合計	3,040	3,636
借地権	17	17	(資本の部)		
ソフトウェア	15	34	資本金	572	572
電話加入権	7	7	資本剰余金	600	600
その他	10	10	資本準備金	600	600
投資その他の資産	1,250	1,282	利益剰余金	631	581
子会社株式	118	118	利益準備金	10	10
長期貸付金	170	179	別途積立金	450	310
長期前払費用	26	17	当期末処分利益	171	260
繰延税金資産	156	114			
差入保証金	774	838			
その他	17	17			
貸倒引当金	△ 13	△ 2	資本合計	1,804	1,754
資産合計	4,845	5,391	負債・資本合計	4,845	5,391

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2004年11月1日から 2005年10月31日まで	前 期 2003年11月1日から 2004年10月31日まで
(経常損益の部)		
営業損益の部		
売上高	10,291	10,399
売上原価	4,448	4,537
販売費及び一般管理費	5,564	5,392
営業利益	278	469
営業外損益の部		
営業外収益	88	68
受取利息及び配当金	5	6
賃貸料収入	27	22
自動販売機収入	21	21
その他	33	19
営業外費用	71	74
支払利息	31	37
貸倒引当金繰入額	10	—
賃貸原価	30	16
新株発行費	—	16
その他	0	4
経常利益	295	463
(特別損益の部)		
特別利益	—	49
貸倒引当金戻入益	—	13
関連会社清算益	—	23
その他	—	11
特別損失	71	22
固定資産除売却損	45	16
賃借店舗解約損	26	6
税引前当期純利益	223	489
法人税、住民税及び事業税	159	276
法人税等調整額	△ 28	△ 21
当期純利益	92	234
前期繰越利益	78	26
当期末処分利益	171	260

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

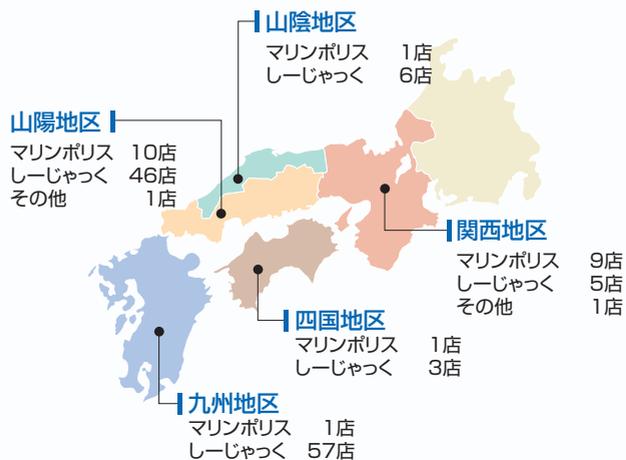
利益処分

(単位：円)

	金 額
当期末処分利益	171,029,945
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金	41,890,000
1株につき10円	
次期繰越利益	129,139,945

国内

(平成17年10月31日現在)



西日本エリアを中心に展開



マリンポリス南観音店



しーじゃく白楽町店



しーじゃく那珂川店内

海外(アメリカ合衆国)

(平成17年10月31日現在)

MARINE POLIS SUSHI LAND

- ビーバートン店 (オレゴン州ポートランド)
- ベルビュー店 (ワシントン州シアトル)
- クラカマス店 (オレゴン州ポートランド)
- クイーンアン店 (ワシントン州シアトル)
- バンクーバー店 (ワシントン州バンクーバー)
- ロイド店 (オレゴン州ポートランド)



ロイド店

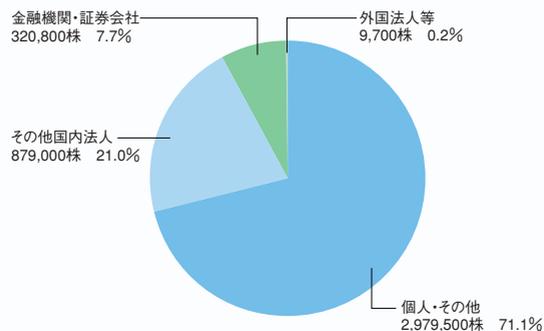
株式の状況 (平成17年10月31日現在)

会社が発行する株式の総数	13,000,000株
発行済株式の総数	4,189,000株
株主数	4,770名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数 株	出資比率 %
山野井 孝 允	1,252,100	29.89
株式会社 レオ	745,000	17.78
山野井 久美子	189,000	4.51
マリネポリス従業員持株会	121,200	2.89
山野井 啓 雄	102,000	2.43
株式会社 中国銀行	90,000	2.14
株式会社 伊予銀行	70,000	1.67
平井 治 雅	42,000	1.00
高橋 昭 夫	40,000	0.95
株式会社東京三菱銀行	35,000	0.83

(注) 株式会社東京三菱銀行は、株式会社UFJ銀行との合併に伴い平成18年1月1日付をもって株式会社三菱東京UFJ銀行となっております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成17年10月31日現在)

商号	株式会社 マリネポリス
設立	昭和60年11月
資本金	572,405,000円
従業員数	293名
主要な事業内容	当社は、回転寿司のチェーンを直営店舗とフランチャイズ店舗にて経営しており、主な事業内容は次のとおりであります。

- 回転寿司事業
「まわるお寿司の国 マリネポリス」「105円寿司しーじゃっく」「まぐる三昧」等回転寿司直営店舗の運営
- その他の事業
フランチャイズ店舗よりのロイヤリティー、加盟金等収入および厨房機器・資材等供給手数料等

ホームページアドレス <http://www.marinepolis.co.jp>

役員 (平成18年1月27日現在)

代表取締役会長	山野井 孝 允
代表取締役社長	山野井 啓 雄
専務取締役	高橋 昭 夫
常務取締役	平井 治 雅
常勤監査役	畝田 拓 生
監査役	寺尾 耕 治
監査役	干田 浩 逸

■ 株主メモ

決算期	毎年10月31日
定時株主総会	毎年1月
基準日	毎年10月31日
	なお、その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告のうえ基準日を定めます。
配当金受領株主	利益配当金 毎年10月31日
確定日	なお、中間配当を実施するときの株主確定日は4月30日といたします。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	電話(通話料無料) 0120-255-100 ※株主関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 手続用紙請求電話(通話料無料) 0120-351-465 インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス各支社
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告により、次の当社ホームページアドレスに掲載いたします。 (http://www.marinepolis.co.jp) ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度

毎年10月31日ならびに4月30日現在の株主様に対し、当社全店舗(海外店舗等一部店舗を除く)でご利用いただけるご飲食優待券を次の基準により贈呈いたします。

- ・100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対し、2,000円相当のご飲食優待券
 - ・1,000株以上ご所有の株主様に対し、10,000円相当のご飲食優待券
- なお、ご飲食優待券と引き換えに、当社指定商品と交換可能です。



株式会社 **マリンポリス**

〒700-0924 岡山県岡山市大元二丁目4番5号

<http://www.marinepolis.co.jp>